

平成30年5月10日発行

東海生研 ～ メールマガジン 第161号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

**** 《もくじ》 ****

- 1. 平成30年度「知」の集積による産学連携支援事業
 - ☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 総会及び第1回セミナー
 - ☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 第2回セミナー（予告）
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
 - ☆平成30年度「食品安全セミナー」 (東海農政局)
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
 - ☆農林水産省等のイベント情報
- 4. 競争的研究資金について
 - ☆平成29年度補正予算 革新的技術開発・緊急展開事業 (うち経営体強化プロジェクト) (追加公募) (農研機構・生研支援センター)
 - ☆平成29年度補正予算 生産性革命に向けた革新的技術開発事業 (追加公募) (農研機構・生研支援センター)
 - ☆平成30年度食料生産地域再生のための先端技術展開事業のうち現地実証研究委託事業 (第2回公募) (農林水産省 技術会議事務局)
 - ☆海洋資源利用促進技術開発プログラム 海洋情報把握技術開発 (文部科学省)
 - ☆平成30年度 Society5.0 実現化研究拠点支援事業 (文部科学省)
 - ☆平成30年度戦略的基盤技術高度化支援事業 (経済産業省)
 - ☆平成30年度 A-STEP 機能検証フェーズ：試験研究タイプ (第1回) (JST)
 - ☆平成30年度 A-STEP 産学共同フェーズ：シーズ育成タイプ (JST)
 - ☆平成30年度 A-STEP 企業主導フェーズ：NexTEP - A タイプ (JST)
 - ☆平成30年度 A-STEP 企業主導フェーズ：NexTEP - B タイプ (JST)
 - ☆平成30年度 産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム (OPERA) 共創プラットフォーム育成型 (JST)
 - ☆平成30年度 産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム (OPERA) オープンイノベーション機構連携型 (JST)
 - ☆平成30年度大学発新産業創出プログラム (START) (JST) 社会還元加速プログラム (SCORE)
 - ☆平成30年度 産学共同実用化開発事業 NexTEP (JST) 未来創造ベンチャータイプ
 - ☆平成30年度 産学共同実用化開発事業 NexTEP 一般タイプ (JST)
 - ☆平成30年度ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業 (NEDO)

- ☆バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業／バイオマスエネルギー導入に係る技術指針・導入要件の策定に関する検討、事業性評価（FS）、実証事業及び技術開発事業（NEDO）
- ☆平成30年度ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）（総務省）
- ☆民間の競争的研究資金
- 5. 新技術情報について

◆ 1 ◆ 平成30年度「知」の集積による産学連携支援事業

☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 総会及び第1回セミナー

【開催日時】 平成30年6月14日（木）受付開始：14時
14時30分～16時45分

【開催場所】 ウィンクあいち（愛知県産業労働センター）903会議室
アクセス：<http://www.winc-aichi.jp/access/>

【内容】 総会 14時30分～15時30分
第1回セミナー 15時45分～16時45分
講演：「ゲノム編集による作物育種～現状・問題点・これから～」
講師：名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授 白武勝裕 氏

【参加】 参加費無料、事前申し込み

【情報交流会】 参加費有り（3000円）事前申し込み
903会議室にて17時～18時30分

【申し込み】 お申し込みについては、下記の項目をご記入の上、6月4日までに、FAX、電子メール、又は郵送にて下記宛てにお送り下さい。

所属、氏名

総会、セミナー、交流会のうち、参加されるイベント名

送付先：FAX 052-789-4586

電子メール bio-npo * s4.dion.ne.jp * を@に代えてお送り下さい。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学農学国際教育研究センター気付

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 第2回セミナー（予告）

【開催日時】 平成30年9月4日（火）13時30分～17時

【開催場所】 ウィンクあいち（愛知県産業労働センター）1208&1209会議室

【講演】（講演順は今後変更があるかもしれません）

第1会場（1208会議室）

○水産部会 13:30～14:30

「愛知県のアサリ漁業と減耗要因の検討」

愛知県水産試験場漁業生産研究所 主任研究員 松村貴晴 氏

○作物部会 14:30～15:30

「自家受粉が可能なニホンナシ新品種『なるみ』等のナシ品種育成の現状」

農研機構 果樹茶業研究部門 品種育成・病虫害研究領域 上席研究員 齋藤寿広 氏

○畜産部会 15:40～16:40

「肉牛生産における SPAY (卵巣摘出術) のメリットと活用事例」

モーモークリニック 大久保幸弘 氏

第2会場 (1209会議室)

○林産部会 13:30～14:30

「薬用植物由来ポリフェノールと生物活性」

岐阜大学応用生物科学部応用生命科学課程 助教 山内恒生 氏

○食品部会 14:30～15:30

「果実 (柿等の規格外品) のペクチンを利用した介護用食品・機能性表示食品の開発」

岐阜大学応用生物科学部 教授 矢部富雄 氏

【技術相談】 案件の受付をさせていただき、後日、対応させていただきます。

【参加】 無料、事前申し込み

【情報交流会】 参加費有り (2500 円)、事前申し込み

1209会議室で17時から18時30分

◆2◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆平成30年度「食品安全セミナー」

(東海農政局)

○5月17日 (木) 13時30分～16時

【場所】 東海農政局第1会議室 (名古屋市中区)

第一部 「食品安全と行政の取組」 東海農政局 消費・安全部長 吉田竹志 氏

第二部 「知っていますか食品表示」 講師 東海農政局 職員

【申込期限】 5月15日 (火) 17時まで

【開催案内】 <http://www.maff.go.jp/tokai/press/seikatsu/180416.html>

【参加】 参加費無料、定員40名になり次第締め切られます。

【参加申込】 上記 URL から FAX 又はインターネットでお申込み下さい。

以下の第一部の演題、講師は、上記と同じ。

○6月27日 (水) 13時30分～16時

第二部 「農薬の安全性について」 東海農政局 消費・安全部表示・規格課 職員

○7月

第二部 「健康食品とサプリメントの正しい知識 (仮)」 講師 外部講師を予定

○8月
第二部 「植物防疫、動物検疫の取組について（仮）」 講師 外部講師を予定

○9月
第二部 「輸入食品の安全性について（仮）」 講師 外部講師を予定

10月～3月の予定は下記 URL をご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/tokai/press/seikatsu/180322.html>

【お問い合わせ】消費・安全部生活課 担当者：三岡様、森本様
代表：052-201-7271(内線 2801)
ダイヤルイン：052-223-4651
FAX 番号：052-220-1362

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センターが開催するセミナー等の情報は、下記の URL の通りです。

<http://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/event/index.html>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報の URL は下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報の URL は下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成30年度競争的研究資金等について

☆平成29年度補正予算 革新的技術開発・緊急展開事業（うち経営体強化プロジェクト）
（追加公募） （農研機構・生研支援センター）

http://www.naro.affrc.go.jp/brain/h27kakushin/keiei/koubo_h29/tsuika_koubo.html

分野等：

1. 超省力安定多収直播栽培技術の開発
2. 国際競争力強化に向けた生鮮野菜の容器包装技術の開発

公募期間：平成30年4月20日～6月19日

.....

☆平成29年度補正予算 生産性革命に向けた革新的技術開発事業（追加公募）
（農研機構・生研支援センター）

http://www.naro.affrc.go.jp/brain/productivity/koubo/tuika_koubo.html

分野等：レーザーセンシング技術等を活用した森林路網作設支援システムの開発

公募期間：平成30年4月20日～6月19日

.....

☆平成30年度食料生産地域再生のための先端技術展開事業のうち現地実証研究委託事業（第2回公募）（農林水産省 技術会議事務局）

http://www.affrc.maff.go.jp/docs/sentan_gijyutu/H30koubo_genchi_2ji.htm

分野等：

1. 復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究（岩手県・農業分野）
2. きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研究（岩手県・農業分野）

公募期間：平成30年4月26日～5月17日

.....

☆海洋資源利用促進技術開発プログラム 海洋情報把握技術開発（文部科学省）

http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1403913.htm

分野等：

1. 海洋酸性化・地球温暖化に関わる情報取得のための技術開発
2. 生物多様性に関わる情報取得のための技術開発
3. マイクロプラスチックに関わる情報取得のための技術開発

公募期間：平成30年4月19日～5月18日

.....

☆平成30年度 Society5.0 実現化研究拠点支援事業（文部科学省）

http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1403785.htm

分野等：学長等のリーダーシップの下、情報科学技術を基盤として事業や学内組織の垣根を超えて研究成果を統合し、社会実装に向けた取組を加速することにより、Society5.0（IoT、ビッグデータ、人工知能等のイノベーションをあらゆる産業や社会生活に活用することで、様々な社会課題が解決される社会）の実現を目指す大学等の先端中核拠点を支援する。

公募期間：平成30年5月1日～6月18日

.....

☆平成30年度戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省）

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2018/180316mono.htm>

分野等：1. デザイン開発に係る技術、2. 情報処理に係る技術、3. 精密加工に係る技術、4. 製造環境に係る技術、5. 接合・実装に係る技術、6. 立体造形に係る技術、7. 表面処理に係る技術、8. 機械制御に係る技術、9. 複合・新機能材料に係る技術、10. 材料製造プロセスに係る技術、11. バイオに係る技術、12. 測定計測に係る技術

公募期間：平成30年3月16日～5月22日

.....

☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）（JST）

平成30年度 機能検証フェーズ：試験研究タイプ（第1回）

【概要説明】 <https://www.jst.go.jp/mp/koubo.html>

【支援対象】 大学等のシーズが企業ニーズ（企業の抱える技術的課題）の解決に資するかどうか確認するための試験研究を支援

【採択予定件数】 70 課題程度

【応募申請者】 大学等の研究者

【研究開発期間】 原則1年

【研究開発費】 ～300万円、グラント方式

【公募要領】 https://www.jst.go.jp/mp/file/h30kinou_koubo.pdf

【公募期間】 平成30年3月15日～平成30年5月15日正午

.....

☆研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) (JST)

平成30年度 産学共同フェーズ：シーズ育成タイプ

【支援対象】 企業の視点で大学等の研究成果に基づく技術シーズの可能性検証及び実用性検証を行い、中核技術の構築を目指す産学協同の研究開発を支援

【採択予定件数】 20 課題程度

【応募申請者】 開発実施企業と大学等の研究者

【研究開発期間】 2～6年

【研究開発費】 2,000万円～5億円、マッチングファンド方式

【公募要領】 http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/files/h30-seeds/h30-a-step-seeds_kouboyouryou_02.pdf

【公募期間】 平成30年3月15日～平成30年5月15日正午

.....

☆研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) (JST)

平成30年度 企業主導フェーズ：NexTEP-A タイプ

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h30nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた企業による大学等の研究成果に基づく技術シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成30年4月2日～7月31日（第1回）、11月30日（第2回）、平成31年3月29日（第3回）

.....

☆研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) (JST)

平成30年度 企業主導フェーズ：NexTEP-B タイプ

【支援対象】 研究開発型企業による大学等の研究成果に基づく技術シーズの実用化開発を支援

【採択予定件数】 若干数

【応募申請者】 シーズの発明者・所有者の了承を得た開発実施企業

【研究開発期間】 最長5年

【研究開発費】 ～3億円、マッチングファンド方式、実施料納付

【公募要領】 http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/files/h30-nextep-b/h30-a-step-nextep-b_kouboyouryou_01.pdf

【公募期間】平成30年3月15日～平成30年6月8日正午

.....
☆平成30年度 産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム (OPERA) (JST)
共創プラットフォーム育成型

<http://www.jst.go.jp/opera/koubo.html>

分野等：本格実施可能性を検討するフィージビリティスタディー (FS) フェーズ、
およびプロジェクトを本格的に推進する本格実施フェーズを設定し、非競
争領域の産学共同研究、博士課程学生等の人材育成及び産学連携システム
改革を一体的に推進する。

公募期間：平成30年3月23日～5月31日

.....
☆平成30年度 産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム (OPERA) (JST)
オープンイノベーション機構連携型

<http://www.jst.go.jp/opera/koubo.html>

分野等：文部科学省の「オープンイノベーション機構の整備事業」を持続的に機能
させていくための基盤となる非競争領域の産学共同研究、博士課程学生等
の人材育成及び産学連携システム改革を一体的に推進する。

公募期間：平成30年4月12日～6月22日

.....
☆平成30年度大学発新産業創出プログラム (START) 社会還元加速プログラム (SCORE)
(JST)

<http://www.jst.go.jp/start/score/jigyoindex.html>

分野等：研究者やアントレプレナー志望者等が、リーンスタートアップ手法等のベン
チャー起業・成長に有益な知識を実践的に学習し、研究開発成果の事業
化を通じた社会還元を加速する。

公募期間：平成30年4月16日～6月5日

.....
☆平成30年度 産学共同実用化開発事業 NexTEP 未来創造ベンチャータイプ (JST)

<http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu.html>

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴
う規模の大きい開発を支援する。

公募期間：平成30年4月2日～7月31日 (第1回)、11月30日 (第2回)、
平成31年3月29日 (第3回)

.....
☆平成30年度 産学共同実用化開発事業 NexTEP 一般タイプ (JST)

<http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu.html>

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴
う規模の大きい開発を支援する。

公募期間：平成30年4月2日～7月31日 (第1回)、11月30日 (第2回)、

平成31年3月29日（第3回）

.....
☆平成30年度ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業 (NEDO)

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100176.html

分野等：

1. 太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス利用、太陽熱利用、その他未利用エネルギー分野。
2. 再生可能エネルギーの普及、エネルギー源の多様化に資する新規技術（燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等）。

公募期間：平成30年4月12日～5月24日

.....
☆「バイオマスエネルギーの地域自立システム化」実証事業／バイオマスエネルギー導入に係る技術指針・導入要件の策定に関する検討、事業性評価（FS）、実証事業及び技術開発事業 (NEDO)

http://www.nedo.go.jp/koubo/FF2_100223.html

分野等：

1. バイオマスエネルギー導入に係る技術指針・導入要件の策定に関する検討（委託事業）
- 2-1. 地域自立システム化実証事業/事業性評価（FS）（委託事業）
- 2-2. 地域自立システム化実証事業/実証事業（助成事業）
3. 地域自立システム化技術開発事業（助成事業）

公募期間：平成30年4月27日～5月28日

.....
☆平成30年度ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000239.html

分野等：ICT そのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合（ICT×〇〇）をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC（Proof of Concept：概念検証）に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成30年4月12日～平成31年3月29日

.....
<民間の競争的研究資金>

当研究会のホームページに掲載した公募情報からご覧ください（下記のURL）。

「農林水産・食品分野の公募情報」：<http://www.biotech-tokai.jp/news/public>

◆ 5 ◆ 新技術情報について

☆野菜関係

○受粉しなくても実がなるトマトをゲノム編集で開発

～ DNA を切らずに書き換える新たなゲノム編集技術を作物に応用～

筑波大学、神戸大学、名城大学は共同で、ゲノム編集技術を用い、受粉しなくても実となる「単為結果性」を持つトマトを開発しました。本成果では、神戸大が開発した DNA を切らずに書き換えるという新たなゲノム編集技術「Target-AID」が作物に応用されました。この成果の単為結果性トマトでは授粉作業や着果促進剤が不要となり、作業の効率化や低コスト化が期待されます。

- ・農林水産技術会議 HP：「2017年農業技術10大ニュース」

<http://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/171220.html>

<http://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/171220-5.pdf>

○容易に設置可能で省力的なキャベツセル成型苗の底面給水育苗技術

本成果は、滋賀県農業技術振興センターが開発したものです。セル成型苗の育苗は、特に夏季の高温条件下においては、従来の手灌水では労力を要し、生育ムラが生じやすいということがありました。しかし、本研究結果により、複数のシートを重ねた底面給水床への自動灌水により、省力的で灌水ムラの少ないセル成型苗の育苗が可能となり、水田野菜に取り組む初心者にもできるようになりました。この技術は、水田野菜（キャベツなど）の規模拡大等に大いに役立つものと思われます。

- ・農林水産技術会議 HP：「最新農業技術・品種2017」

http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/new_tech_cultivar/attach/pdf/2017-39.pdf

☆森林・林業関係

○桜の害虫防除に貢献！ 微生物防除剤「バイオリサ・カミキリ」が桜に適用拡大

クビアカツヤカミキリは、最近我が国に侵入した外来生物です。モモ、スモモなどに被害を及ぼす農業害虫ですが、各地の桜の木にも被害を及ぼしつつあります。平成29年7月12日時点で、東海地域では愛知県のみで発生（平成24年以降）していますが、近隣の奈良県、大阪府でも発生しており、東海地域での今後の発生状況に注意が必要です。各地の桜の名所を本害虫から守る生物的防除手段が、本剤の登録により増えました。

- ・（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所 HP(プレスリリース)：

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/press/2018/20180416/documents/20180416press.pdf>

.....

編集後記

大型連休が過ぎ、樹々の緑が一層濃くなってきました。先月号からの間、朝鮮半島の板門店で南北首脳会議が行われ、南北融和ムードが一気に盛り上がりました。これから本番の米朝首脳会議が来月にも行われますが、非核化と拉致家族の帰還、関係改善に向けた伸展を期待したいものです。昨年は一触即発の危機感がありましたが、平和に暮らせる有難みを感じます。

ところで、最近読んだ本に、伊藤穰一著「教養としてのテクノロジー ～日本人はどう変わるべきなのか～」(NHK 出版新書、2018年3月発行)があります。著者は、米国のマサチューセッツ工科大学(MIT)のメディアラボの所長をしており、そのような立場で様々な人と触れあう中で、AI、仮想通貨、ブロックチェーン、自動運転などのテクノロジーについての見識を養い、広い視野からの思いを日米の比較を織り交ぜながら述べています。日本の社会経済についても、東京オリンピックを境に変革の時期に入っており、日本人はどう変わるべきかといった大所高所からの思いを述べています。少子高齢化、巨額の財政赤字、貧富の差の拡大など、社会的閉塞感が広がる中で、著者のように別の角度から技術や社会を俯瞰し、新しいあり方を考えてみるのも良いのではないかと思います。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 《メールマガジンに関するお問い合わせは》＝＝＝＝＝＝＝＝＝

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>